

第3課 指導案

第3課「お名前は？」

<調べ学習>

中国人の名字を、中国語で何と読むか調べてみよう。

全2時間の第1時間目 (14-p)

	項 目	指導例と留意点	指示の例
導 入 10 分	挨拶・点呼	授業開始の挨拶をし、出席をとる。	“同学们好!” “老师好!” “现在要点名。”
	到達目標の確認 第3課の単元目標	第3課のポイントを簡単に紹介する。 ★ 引き続き、発音を中心に学習することを意識させる。 ★ テーマを板書する。「お名前は？」 ★ 到達目標を配布する ★ この課のポイントが、挨拶や自己紹介の表現を学習することに注意を向ける。	今日から第3課を学習します。到達目標のプリントを見てください。 この課では、“z h” “c h” “s h” “r” で始まる音、そり舌音を学習します。 また、普段よく使う挨拶や、やり取りを勉強していきます。 中国語で、簡単な自己紹介をできるようになります。
	本時の目標	本時の学習ポイントを簡単に紹介する。 ★ 普段よく使う挨拶ややり取りの表現 ★ 自分の名字を言ったり、相手の名字を尋ねる表現	今日は、普段よく使う挨拶や、やり取りの表現を勉強します。 また、自分の名字を名乗ったり、相手の名字を尋ねる表現も勉強します。中国人や日本人のよく見かける名字についても取り上げます。 簡体字と日本語の漢字との違いについても勉強します。

第3課 指導案

導 入 10 分	<p>キーワードの学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 巻末の語いリストを見て書きましょう。 <p>簡体字の学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 気をつけて書きましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 巻末の語いリストを見て書きましょう。(14p) ピンインの空白箇所と () 内に日本語の意味を記入させる。 <p>板書して、発音と意味を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ 生徒にピンインを板書させ、チェックするのもよい。 ★ 机間巡視し、必要に応じて支援する。 <p>教師用CD23 を流す。</p> <p>ゆっくり模範音読し、リピートさせる。続いてコーラスリーディングする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ ゆっくり、はっきり発音する。 ★ 発音できているか留意する。机間巡視し、必要に応じて適宜指導する。 <ul style="list-style-type: none"> ● 気をつけて書きましょう。(14p) 正しい書き順で、丁寧に書くようにするために、手本を板書する。正しく書けているか机間巡視し、必要に応じて支援する。 ★ 間違い易い漢字の書き方について、注意を喚起する。 ★ 日中での漢字の違いに注意を向ける。 ★ “对”(对) の左部分が日本語とは異なることに気付かせる。 ★ “贵”(貴) の下の「貝」の部分が日本語とは異なることに気付かせる。 ★ “见”(見) の3画目以降の書き方が日本語とは違うことに気付かせる。 	<p>教科書14ページを開けてください。</p> <p>では、75ページからの語いリストを見て、□にはアルファベットを書き入れてピンインを完成させましょう。ピンク色には、声調符号がついたアルファベットが入ります。</p> <p>() には、日本語訳を書き入れましょう。</p> <p>では、正しく書けているかを板書で確認しましょう。間違っている箇所は訂正しましょう。</p> <p>ピンインと意味が確認できたので、次は発音を練習しましょう。まずは、CDに続いて発音してみましょう。次は、私の後に続いて練習しましょう。</p> <p>教科書にある書き順に従って、丁寧に書きましょう。</p> <p>“对”の漢字をよく見ましょう。左側はカタカナの「又」に似ていますね。</p> <p>“贵”を見てください。下の部分の「目」の横画と「ハ」の左側の部分が1画ですね。また、最後の1画、「ハ」の右部分ははらわずに止まっていますね。</p> <p>“见”の漢字を見てください。中国語では3画目の始まりが上の方にきています。気をつけましょう。</p>
-----------------------	---	--	---

第3課 指導案

<p>展 開 1 分 15 分</p>	<p>声調符号の書き取り練習</p> <p>● 1 声調符号を書き取り、 言ってみましょう。</p> <p>● 1 声調符号を書き取り、 言ってみましょう。</p> <p>● 1 声調符号を書き取り、 言ってみましょう。(15p)</p> <p>● 気を付けて書きましょう。</p>	<p>● 1 声調符号を書き取り、 言ってみましょう。(15p)</p> <p>教師用CD24を流す。</p> <p>ゆっくり発音する。 ★ ゆっくり、はっきり発音する。 ★ 机間巡視し、必要に応じて適宜支援する。</p> <p>正解を板書する。 ★ 声調符号がついているのは“a”“o”“e”“i”“u”“ü”であることを確認させる。 ★ 声調符号をつける上記の6つを「日本語でア(“a”)、イ(“i”)、ウ(“u”“ü”)、エ(“e”)、オ(“o”)と読むアルファベットにつける」につけると説明するのもよい。</p> <p>ゆっくり発音する。 ★ 表記と発音が一致しにくいもの(例えば“-ui”や“-ian”等)を生徒に発音させながら、注意を促すとよい。 例：“对(duì)不起(qǐ)”“贵(guì)姓”“见面(jiànmiàn)”等。 “duì” ≠ 「ツイ」、 “qǐ” ≠ 「キ」、 “jian” ≠ 「ジアン」</p> <p>● 気を付けて書きましょう。(15p)</p> <p>正しい書き順で、丁寧に書くようにするために、手本を板書する。正しく書けているか机間巡視し、必要に応じて支援する。 ★ 間違い易い漢字の書き方について、注意を喚起する。 ★ 日中での漢字の違いに注意を向ける。</p>	<p>今から、CDを流します。それぞれの場面の表現の声調符号を書き取ってみましょう。 声調符号は、ピンク色のアルファベットにつけましょう。</p> <p>どうですか。書き取れましたか。 今度は私が発音しますので、もう一度聞いてください。</p> <p>では、正しく書けているかを確認しましょう。 声調符号をつける位置に気をつけましょう。 どこにつけるか覚えていますか。“a”“o”“e”“i”“u”“ü”の6つでしたね。9ページを参考にしましょう。 記入に間違いがないかをチェックしましょう。間違っている箇所は訂正しましょう。</p> <p>では、みんなで発音練習しましょう。</p> <p>教科書にある書き順に従って、丁寧に書きましょう。 “澤”の漢字をよく見ましょう。日本語の「澤」という字です。右側は、「又」の下に「二」と縦棒ですね。</p>
---	---	--	--

第3課 指導案

<p>展 開 2 20 分</p>	<p>会話文1の練習</p> <p>● お名前は？</p>	<p>● お名前は？ (16p)</p> <p>会話の場面を紹介する。</p> <p>イラストを手掛りにどんな会話をしているか、推測させる。 教師用CD25を流す。</p> <p>内容を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ 澤田君は初対面の李さんに対して“您好！”を使っていることを確認させる。 ★ 第2課で学習した“…吗？”とはちがう疑問文を学習することを確認する。 ★ 大まかな内容を把握できたか。 ★ 教師から発問をして生徒に答えさせてもよい。日本語でも中国語でも構わない。 <ul style="list-style-type: none"> ・澤田君は挨拶の時に何と言っていましたか。 ・李さんは、澤田くんの名字がわかりましたか。 ・李さんはどんな表現を使って質問していましたか。 <p>発音の練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ CDまたは教師の後について、発音練習をする。 ★ 声調に気をつけて、リズムよく読めるように留意する。 ★ 場面を想像しながら読めるように留意する。 ★ “tian” ≠ 「ティアン」、 “dui” ≠ 「ドゥイ」、 “gui” ≠ 「グイ」とは読まないことに留意する。 	<p>16ページを見てください。 今回は澤田君と李さんが、初めて会う場面です。 ふたりがどんな会話をしているのか聴いてみましょう。</p> <p>どうですか？どんな話をしていたか、わかりましたか？ 皆さんは、初対面の時どんな会話をするか考えてみてください。 澤田君は李さんに、“你”の敬語表現の“您”を使っていますね。 これは初対面だからですね。 澤田君、自分の名字を名乗っていますね。 中国では、相手が名前を名乗らないと、自分の名前を言わないことが多いとも言われます。 李さん、“对不起。”と謝っていますね。なぜでしょう。 そして、第2課で学習した“…吗？”とはちがう疑問文で尋ねています。何を尋ねているのでしょうか。</p> <p>では、意味を確認しましょう。 澤田「こんにちは！僕は澤田といいます。」 李「ごめんなさい。もう一度おっしゃってください。あなたのご名字は何ですか。」 澤田「僕は澤田といいます。」</p> <p>それでは、発音練習をしましょう。</p>
--	-------------------------------	--	---

第3課 指導案

<p>展 開 2 20 分</p>	<p>置き換え練習</p> <p>● 1 例にならって、クラスメートの名字を聞いてみましょう。</p>	<p>ペアで音読練習させる。それぞれの役を交互に練習させる。</p> <p>★ 机間巡視し、必要な生徒には支援する。</p> <p>何組かに発表させる。</p> <p>★ できるだけ自主的に発表することを促す。指名してもよい。</p> <p>★ 生徒の発音、声調を確認し、一連の練習の成果をみる。どんどん褒める。</p> <p>● 1 例にならって、クラスメートの名字を聞いてみましょう。</p> <p>教師用CD26 を流す。</p> <p>ゆっくりはっきりと発音する。</p> <p>★ CDまたは教師の後について、発音練習をする。</p> <p>★ 声調に気をつけて、リズムよく読めるように留意する。</p> <p>★ 場面を理解ながら読めるように留意する。</p> <p>★ 名字が未習ならば、先に学習、練習する。 既習であれば、各生徒に名字を言わせて確認するとよい。 生徒の発音を確認し、必要な生徒には支援する。</p>	<p>では、隣の人と対話練習してみましょう。役割を変えても練習しましょう。</p> <p>できた人は、前後の人とも練習してみましょう。</p> <p>後で発表してもらいますから、しっかり練習してください。</p> <p>しっかり練習できましたか。それでは発表してもらいましょう。誰からでも結構です。誰か発表してくれませんか？</p> <p>みなさん、よくできていました。</p> <p>では、本文1に出てきた表現を使った会話練習をしてみましょう。</p> <p>まずはCDを聞いてみましょう。</p> <p>本文では、澤田君も李さんも初対面の相手に対して“您”を使っていましたが、今回は“你”で練習しましょう。</p> <p>まずは、教科書通りに発音の練習をしましょう。</p> <p>次に、下線部に自分の名字を入れて、ペアワークしましょう。それぞれの役を交代で練習しましょう。</p> <p>後で発表してもらいますから、しっかり練習してください。</p>
-----------------------------------	---	---	--

第3課 指導案

<p>展 開 2 分</p>	<p>発音の練習</p> <p>● 2 ピンインに注意して言ってみましょう。</p> <p>簡体字の学習</p> <p>● 気をつけて書きましょう。</p>	<p>ペアで練習させる。違う相手とも練習させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ 机間巡視し、必要な生徒には支援する。 ★ 場面を理解ながら言えるように留意する。 <p>何組かに発表させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ できるだけ自主的に発表することを促す。指名してもよい。 ★ 生徒の発音、声調を確認し、一連の練習の成果をみる。 <p>● 2 ピンインに注意して言ってみましょう。(16p)</p> <p>文字を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ 生徒に発話させるのもよい。 ★ “sun” ≠ 「スン」、 “teng” ≠ 「テンン」、 “tian” ≠ 「ティアン」とは読まないことに留意する。 <p>教師用CD27を流す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ CDのスピードが速いようであれば、教師の後について、発音練習をする。ゆっくり、はっきり発音する。 ★ 机間巡視し、必要に応じて適宜指導する。 <p>● 気をつけて書きましょう。</p> <p>正しい書き順で、丁寧に書くようにするために、手本を板書する。正しく書けているか机間巡視し、必要に応じて支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ 間違い易い漢字の書き方について、注意を喚起する。 ★ 日中での漢字の違いに注意を向ける。 	<p>できた人は、前後の人とも練習してみましょう。</p> <p>では、発表してもらいましょう。 誰からでも結構です。誰か発表してくれませんか？</p> <p>みなさん、よくできていました。</p> <p>さあ、今度は中国人と日本人との名字を、中国語で何と読むか勉強しましょう。 中国人の名字は1文字がほとんどです。 “孫”は「孫」、 “马”は「馬」、 “赵”は「趙」の簡体字です。 どれも中国ではよく見かける名字です。 “铃”は「鈴」、 “桥”は「橋」という簡体字だということがわかりますか。これらも日本ではよく見かける名字ですね。</p> <p>それでは、発音してみましょう。</p> <p>教科書にある書き順に従って、丁寧に書きましょう。 “遍”をよく見ましょう。日本語の「遍」とは違っていませんね。 中国語では1画目が線ではなく点です。気をつけましょう。</p>
----------------------------	--	--	---

第3課 指導案

ま と め 5 分	<p>まとめ</p> <p>挨拶</p>	<p>まとめ</p> <p>14-16p をCDに合わせて音読する。 ★ 発音、声調、スピード、語調などを意識させる。</p> <p>宿題提示と次回の授業内容の予告をする。</p> <p>授業終了の挨拶をする。</p>	<p>まとめ</p> <p>では、今日習ったところをもう一度みんなで読みましょう。</p> <p>今日の宿題です。 自分の名字が言えるように、また相手の名字が聞けるできるように練習してきてください。</p> <p>次の時間は人を誰かに紹介する表現や、フルネームのたずね方や答え方を勉強します。また「そり舌音」と呼ばれる音を勉強します。</p> <p>“同学们, 再见!” “老师, 再见!”</p>
---------------------------	----------------------	---	---

<板書例>

第3課 お名前は？
今日のテーマ

1. 普段よく使う挨拶ややり取りの表現を学習する。
2. 名字を尋ねたり、答えたりできるようになる。

<宿題>

キーワードと簡体字の書き方練習を、この課に入る前の授業の宿題（予習）としてもよい。その場合、導入の段階で作業ができているか確認を行う。

自分の名前が既習であれば、確認し、言えるように練習することを宿題にしてもよい。また、未習であれば名簿を配って、発音練習していただくことを宿題にしてもよい。

第3課 指導案
全2時間の第2時間目 (17pー)

	項 目	指導法と留意点	指示の例
導 入 5 分	挨拶・点呼 復習 本時の目標	挨拶をし点呼をとる。 復習 前時で学習した表現を言えるか確認する。 ★ 生徒を指名して発音させるのもよい。 本時のポイントを簡単に紹介する。 ★ 人を紹介する表現 ★ そり舌音を学習 ★ 簡単な自己紹介ができるようになる	“同学们好!” “老师好!” “现在要点名。” では、前回の復習をしましょう。中国語で言ってみましょう。 「初めて会った人に対して、こんにちは。」 “您好!” 「私の名字は澤田です。」 “我姓泽田。” 「ごめんなさい。」 “对不起。” 「もう一度おっしゃってください。」 “请再说一遍。” 「あなたのご名字は何ですか。」 “您贵姓?” それでは質問しますので、中国語で答えてください。 “你好! 你贵姓?” — “我姓~。” 今回は人を誰かに紹介する表現や、フルネームのたずね方や答え方を勉強します。 また、“z h” “c h” “s h” “r” を勉強します。
展 開 1 10 分	会話文2の練習 ● 初めまして。	● 初めまして。(17p) 会話の場面を紹介する。 イラストを手掛りにどんな会話をしているか、推測させる。 教師用CD28 を流す。	教科書17ページを見てください。 今回は李さんがお父さんに、男の子を紹介している場面での会話ですね。 イラストを見て下さい。男の子は少し緊張しているようです。 誰でしょうね。 では、三人がどんな会話をしているのか聴いてみましょう。 どうですか? どんな話をしていたか、わかりましたか?

第3課 指導案

<p>展 開 1 10 分</p>	<p>発音の練習 ● 1 ピンインに注意して言ってみましょう。</p>	<p>内容を確認する。 ★ “这是…”を使って人を紹介していることを確認する。 ★ 大まかな内容を把握できたか。 ★ 教師から発問をして生徒に答えさせてもよい。日本語でも中国語でも構わない。 ・ 李さんは、お父さんに誰を紹介していますか。 ・ 男の子の名字は何と言いましたか。 ・ 男の子はお父さんに何と言いましたか。 ・ お父さんは何と言いましたか。</p> <p>発音の練習をする。 ★ CDまたは教師の後について、発音練習をする。 ★ 声調に気をつけて、リズムよく読めるように留意する。 ★ 場面を想像しながら読めるように留意する。</p> <p>グループで音読練習させる。それぞれの役を交互に練習させる。 ★ 机間巡視し、必要な生徒には支援する。</p> <p>何組かに発表させる。 ★ できるだけ自主的に発表することを促す。指名してもよい。 ★ 生徒の発音、声調を確認し、一連の練習の成果をみる。どんどん褒める。</p> <p>● 1 ピンインに注意して言ってみましょう。</p>	<p>“这”は、近くにいる人をさして「こちらは」という意味です。第2課で勉強した“是”を使って、“这是…”で「こちらは…です。」と人を紹介しています。</p> <p>それでは意味を確認しましょう。 李さん「お父さん、こちらは私のボーイフレンドの遠藤君です」 遠藤君「こんにちは。初めまして。」 李さんのお父さん「お入りなさい。」</p> <p>では、CDにあわせて発音しましょう。</p> <p>次に3人一組になって練習をしましょう。それぞれの役を交代で練習しましょう。 後で発表してもらいますから、しっかり練習してください。</p> <p>では、発表してもらいましょう。 誰からでも結構です。誰か発表してくれませんか？</p> <p>みなさん、よくできていました。</p> <p>次は「そり舌音」を勉強します。 “zh” “ch” “sh” “r” 始まる音は「そり舌音」と呼ばれるグループです。 舌の先を上歯ぐきの少し奥に当てて発音する音です。 日本語にはない発音ですね。</p>
-----------------------------------	---	---	--

第3課 指導案

<p>展 開 1 10 分</p>		<p>教師用CD29を流す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ “zh” “ch” “sh” “r” を発音するときの舌の位置などをしっかり覚えるよう留意する。 ★ “zh” “ch” “sh” “r” につく “i” は、「イ」とは読まないことに留意する。 <p>意味を確認する。</p> <p>発音練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ CDのスピードが速いようであれば、教師がゆっくりはっきりと音読する。 ★ 発音できているか留意する。机間巡視し、必要に応じて適宜指導する。 	<p>ではCDを聴いてみましょう。</p> <p>摩擦したような音が聞こえましたか。 まず意味を確認しましょう。</p> <p>次に発音練習をしましょう。 まず、舌先の裏を上歯と歯ぐきの境目につけましょう。日本語のタ行やナ行の時は、舌先の表が歯と歯ぐきの境目についていますね。 次に舌の真ん中にくぼみを作るように、舌先の裏を口の奥の方へ移動させていきます。 しばらくは上あごのゴツゴツした部分が続きますが、やがてツルンとしたくぼみが現れます。 ゴツゴツした部分とツルンとしたくぼみの境目あたりに舌先の裏をあてましょう。 “zh” は「ジャ」や「ジュ」のような音をイメージしましょう。日本語よりも、摩擦舌音です。(それぞれのことばは、発音指導例参照)</p> <p>では発音練習をしてみましょう。</p>
-----------------------------------	--	--	---

第3課 指導案

<p>展 開 2 10 分</p>	<p>会話文3の練習</p> <p>● 遠藤堅です。</p>	<p>● 遠藤堅です。 会話の場面を紹介する。</p> <p>イラストを手掛りにどんな会話をしているか、推測させる。 教師用CD30を流す。</p> <p>内容を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ 前回学習した“我姓…”を理解しているか確認する。 ★ “我姓…”を“我叫…”の違いを確認する。 ★ 教師から発問をして生徒に答えさせてもよい。日本語でも中国語でも構わない。 <ul style="list-style-type: none"> ・父さんは最初、遠藤君に何と質問しましたか。 ・遠藤君は何と答えましたか。続けて何と言いましたか。 ・お父さんはふたつ目にどんな質問をしましたか。 <p>発音の練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ CDまたは教師の後について、発音練習をする。 ★ 声調に気をつけて、リズムよく読めるように留意する。 ★ 場面を想像しながら読めるように留意する。 <p>ペアで音読練習させる。それぞれの役を交互に練習させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ 机間巡視し、必要な生徒には支援する。 	<p>会話3は、会話2の続きです。 室内に入った李さんのお父さんと遠藤君との会話です。 ふたりがどんな会話をしているのか聴いてみましょう。</p> <p>どうですか？どんな話をしていたか、わかりましたか？ 前回勉強した“我姓…”という表現は聞き取れましたか。 名字だけでは終わっていませんでしたね。 また、第2課で勉強した“～也是高中生吗？”も出てきましたね。</p> <p>それでは意味を確認しましょう。 李さんのお父さん「お掛けなさい。君は名前を何というんだい。」 遠藤君「私の名字は遠藤で、遠藤堅と申します。どうぞよろしく お願いします。」 李さんのお父さん「君も高校生かい。」 遠藤君「はい、僕も高校生です。」</p> <p>それでは、発音練習をしましょう。</p> <p>では、隣の人と対話練習してみましょう。役割を変えても練習 しましょう。 できた人は、前後の人とも練習してみましょう。 後で発表してもらいますから、しっかり練習してください。</p>
---	--------------------------------	---	---

第3課 指導案

<p>展 開 2 10 分</p>	<p>置き換え練習</p> <p>● 1 例にならって、隣の人を紹介してみましょう。</p>	<p>何組かに発表させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ できるだけ自主的に発表することを促す。指名してもよい。 ★ 生徒の発音、声調を確認し、一連の練習の成果をみる。どんどん褒める。 <p>● 1 例にならって、隣の人を紹介してみましょう。</p> <p>教師用CD31を流す。</p> <p>発音の練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ CDまたは教師の後について、発音練習をする。 ★ 声調に気をつけて、リズムよく読めるように留意する。 ★ 場面を想像しながら読めるように留意する。 <p>ペアで音読練習させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ 相手の名前が言えるように練習する。 ★ 机間巡視し、必要な生徒には支援する。 ★ 相手を替えて練習する。 	<p>しっかり練習できましたか。それでは発表してもらいましょう。誰からでも結構です。誰か発表してくれませんか？</p> <p>みなさん、よくできていました。</p> <p>CDを流しますので、まずは聴いてください。</p> <p>本文2と3に出てきた表現を使って、隣の人を紹介していましたね。</p> <p>“同学”は「クラスメート」という意味でしたね。“同班”は「同じクラス」なので、“同班同学”は「同じクラスのクラスメート」という意味です。</p> <p>“他”は第2課でも出てきた、男性をさす「彼」でしたね。例では男性を紹介しているということです。</p> <p>女性をさす「彼女」は何と行ったか覚えていませんか。</p> <p>“她”でしたね。「彼」も「彼女」も発音は同じ“tā”ですね。</p> <p>「こちらは私のクラスメートです。彼の名前は遠藤で、遠藤堅と言います。」</p> <p>まずは、教科書通りに発音の練習をしましょう。</p> <p>それでは、隣の人を紹介してみましょう。</p> <p>下線部は、実際に隣の名前を入れて練習しましょう。</p> <p>お互いに紹介できたら、今度は相手を変えてやってみましょう。後で発表してもらいますから、しっかり練習してください。</p>
-----------------------------------	--	---	--

第3課 指導案

<p>展 開 2 10 分</p>	<p>練習問題</p> <p>● 1 2人ひと組になって、例にならって自己紹介しましょう。</p> <p>● 2 CDを聞いて、中国語で答えましょう。</p>	<p>何組かに発表させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ できるだけ自主的に発表することを促す。指名してもよい。 ★ 生徒の発音、声調を確認し、一連の練習の成果をみる。どんどん褒める。 ★ 3人一組で、初対面の2人（A, B）をもうひとり（C）が紹介する会話にしてもよい。 <p>● 1 2人ひと組になって、例にならって自己紹介しましょう。</p> <p>ペアで練習させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ 机間巡視し、必要な生徒には支援する。 <p>何組かに発表させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ できるだけ自主的に発表することを促す。指名してもよい。 ★ 生徒の発音、声調を確認し、一連の練習の成果をみる。どんどん褒める。 <p>2 CDを聞いて、中国語で答えましょう。</p> <p>教師用CD33を流す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ CDが速ければ、教師がゆっくりはっきりと発音する。 ★ 机間巡視し、必要な生徒には支援する。 <p>答えを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ できるだけ自主的に発表することを促す。指名してもよい。 	<p>では、発表してもらいましょう。 誰からでも結構です。誰か発表してくれませんか？</p> <p>みなさん、よくできていました。</p> <p>18ページを開けてください。 練習問題の1番。2人ひと組になって、例にならって自己紹介しましょう。 まずはペアを作ってください。 Bの役割の人は、Aの人の名字を教えてください。 後で発表してもらいますから、しっかり練習してください。</p> <p>誰からでも結構です。誰か発表してくれませんか？</p> <p>みなさん、よくできていました。</p> <p>続いて2番。 CDを聞いて、中国語の質問を聞いて答えましょう。 それではCDを聞いてみましょう。</p> <p>聞き取れましたか？</p> <p>それでは答えを確認しましょう。 誰か発表してくれませんか？</p>
-----------------------------------	---	---	---

第3課 指導案

展 開 3 20 分	<p>● 4 友達に中国語でインタビューしてみよう。</p>	<p>● 4 友達に中国語でインタビューしてみましょう。 質問項目を確認する。</p> <p>各項目を尋ねる文を確認する。 ★ 教師から発問をして生徒に答えさせてもよい。 ★ 教師の後について、発音練習をする。</p> <p>★ 第2課7ページ、第2課9ページ、13ページなどを参考にさせるとよい。</p> <p>★ 机間巡視し、必要な生徒には支援する。</p> <p>◎要差し替え 「できること」「できないこと」を尋ねる問題では“跑步”“听音乐”“看书”を使うのは適切ではないので、例を“唱歌”“跳舞”“做菜”に差し替えて下さい。</p> <p>答えを発表する。 ★ できるだけ自主的に発表することを促す。指名してもよい。</p>	<p>19ページを開けてください。先に4番をやりましょう。 友達に中国語でインタビューしてみましょう。</p> <p>質問は5つ。名前は名字とフルネーム、誕生日、年齢、そしてできることとできないことを聞きます。</p> <p>どんな疑問文を使ったらいいか覚えていますか。 [名字] “你贵姓？” [フルネーム] “你叫什么名字？” [誕生日] “你的生日几月几号？” 「誕生日」は“生日”と言います。第1課で日付を尋ねる表現を勉強しました。覚えていますか。 [年齢] “你多大？” 年齢の尋ね方は19ページの真ん中にある“你多大？”を使いましょう。 [できること・できないこと] “你会…吗？” できること、できないことはその下にある“你会…吗？”と□にある表現を使います。</p> <p>第1課、第2課で勉強した表現をどんどん使ってください。</p> <p>では、友達にインタビューをしてみましょう。 答えはテキストに書きこんでください。</p> <p>できましたか。 誰からでも結構です。誰か発表してくれませんか？</p>
------------------------	--------------------------------	--	---

第3課 指導案

<p>展 開 3 20 分</p>	<p>● 3 例にならって、中国語で自己紹介しましょう。</p>	<p>● 3 例にならって、中国語で自己紹介しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ 学校名を確認する。 ★ 机間巡視し、必要な生徒には支援する。 <p>答えを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ できるだけ自主的に発表することを促す。指名してもよい。 	<p>18ページに戻ってください。 3番。例にならって、中国語で自己紹介してみましょう。 勉強した表現を使って、自由に自己紹介文を作ってみましょう。 作るのが難しい人は、例に当てはめてみましょう。</p> <p>できましたか。 誰からでも結構です。誰か発表してくれませんか？</p>
<p>ま と め 5 分</p>	<p>まとめ</p>	<p>まとめ</p> <p>17pをCDに合わせて音読する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ 発音、声調、スピード、語調などを意識させる。 <p>チェックリストを配布する。</p> <p>宿題提示と次回の授業内容の予告をする。</p>	<p>では、今日習ったところをもう一度みんなで読みましょう。 17ページを開けてください。</p> <p>それでは第3課の達成度のチェックをしましょう。</p> <p>今日の宿題です。 次回から第4課に入ります。20ページのキーワードを76ページを見て書きこんでください。</p>
	<p>挨拶</p>	<p>授業終了の挨拶をする。</p>	<p>“同学们,再见。” “老师,再见。”</p>

第3課 指導案

<板書例>

第3課 お名前は？

今日のテーマ

1. 人を紹介する表現を勉強する。
2. そり舌音“z h”“c h”“s h”“r”が発音できるようになる。
3. 自己紹介ができるようになる。

<宿題>

次の課のキーワードと簡体字の書き方練習を、宿題（予習）としてもよい。その場合、導入の段階で作業ができているか確認を行う。